

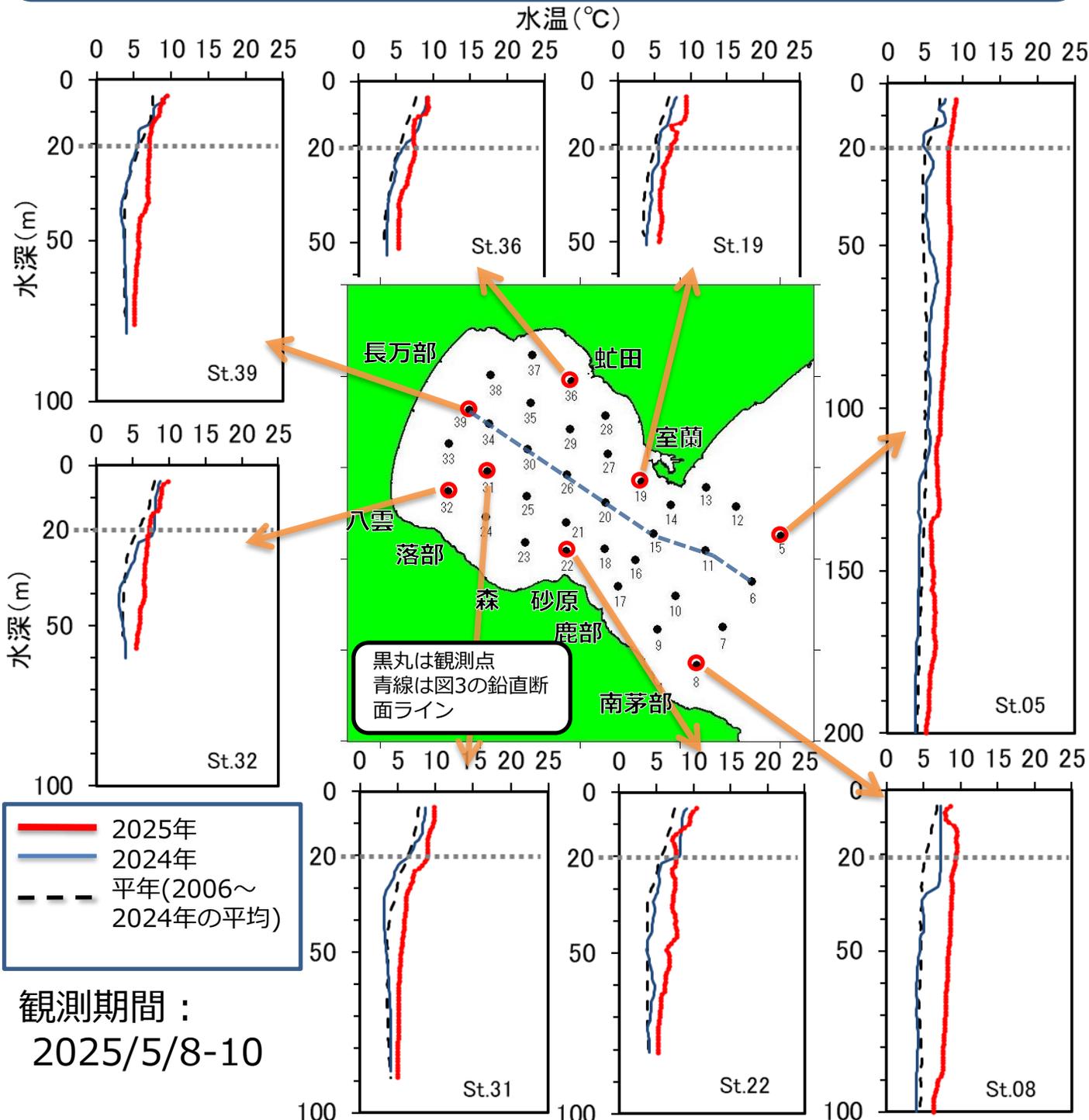


2025年5月8～10日に函館水産試験場試験調査船「金星丸」で実施した噴火湾周辺海域の水温・塩分・潮流の観測結果およびホタテガイラーバの採集結果をお知らせします。QRコードからもアクセスできます→

- ・湾内外の水温は全層で平年より1～4℃高い
- ・湾内表層は4月から高温・低塩化しているが、時計回りの渦は観察されていない
- ・ホタテラーバは中型がメインで、**まもなく付着盛期に達する見込み**（3枚目に詳細有り）

### 【水温・塩分の鉛直分布】

噴火湾内の表層は水温9～10℃台、20m以深では水温5～8℃でした（図1）。湾内外の全層で平年の水温より1～4℃高く、特に湾外の水深20～50mでは平年と比べ4℃程度高くなっています（ST.05, ST.08）。



観測期間：  
2025/5/8-10

図1 噴火湾各地先の水温の鉛直分布

## 【水温，塩分，流向流速の水平分布】

### ■水温・塩分（水深20m）

水温は湾内で7~8℃台，湾口部で5~6℃台，湾外で7~9℃台となっていました（図2A）。塩分は湾内で32.7前後，渡島側湾口部で32.4~32.6とやや低く，湾外では33.0~33.6とやや高くなっていました（図2B）。4月と比べ表層の低塩化が進み，現在は夏季噴火湾表層水の形成途中にあたりと考えられます。

### ■流向流速（水深13m）

4月に引き続き，噴火湾口部の胆振側から渡島側に向けた流れが観測されました。例年夏季噴火湾表層水が形成されると噴火湾内表層では時計回りの渦が形成されますが，今年5月の調査では明瞭な流れは観察されませんでした（図2C）。

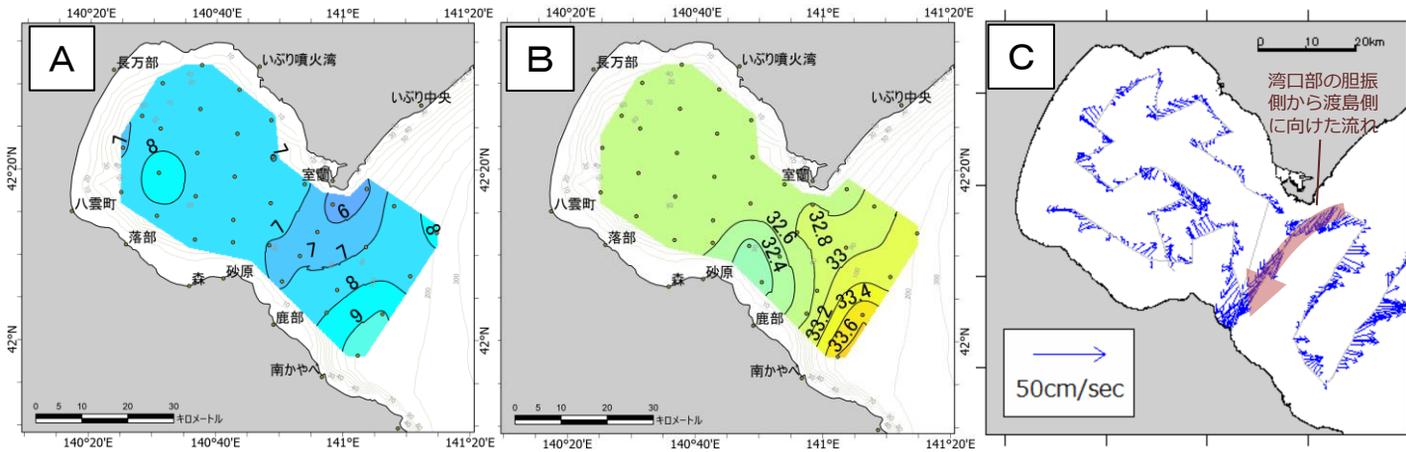


図2 A:水温（深度20m），B:塩分（深度20m），C:流向流速（深度13m）

## 【水温，塩分の鉛直断面】

2025年5月の湾内表層付近の水温は8℃以上，塩分は32~33となっており，4月から高温・低塩化が進んでいます。30m以深の水温は5~7℃台，塩分は32.8~33.5となっています（図3右）。

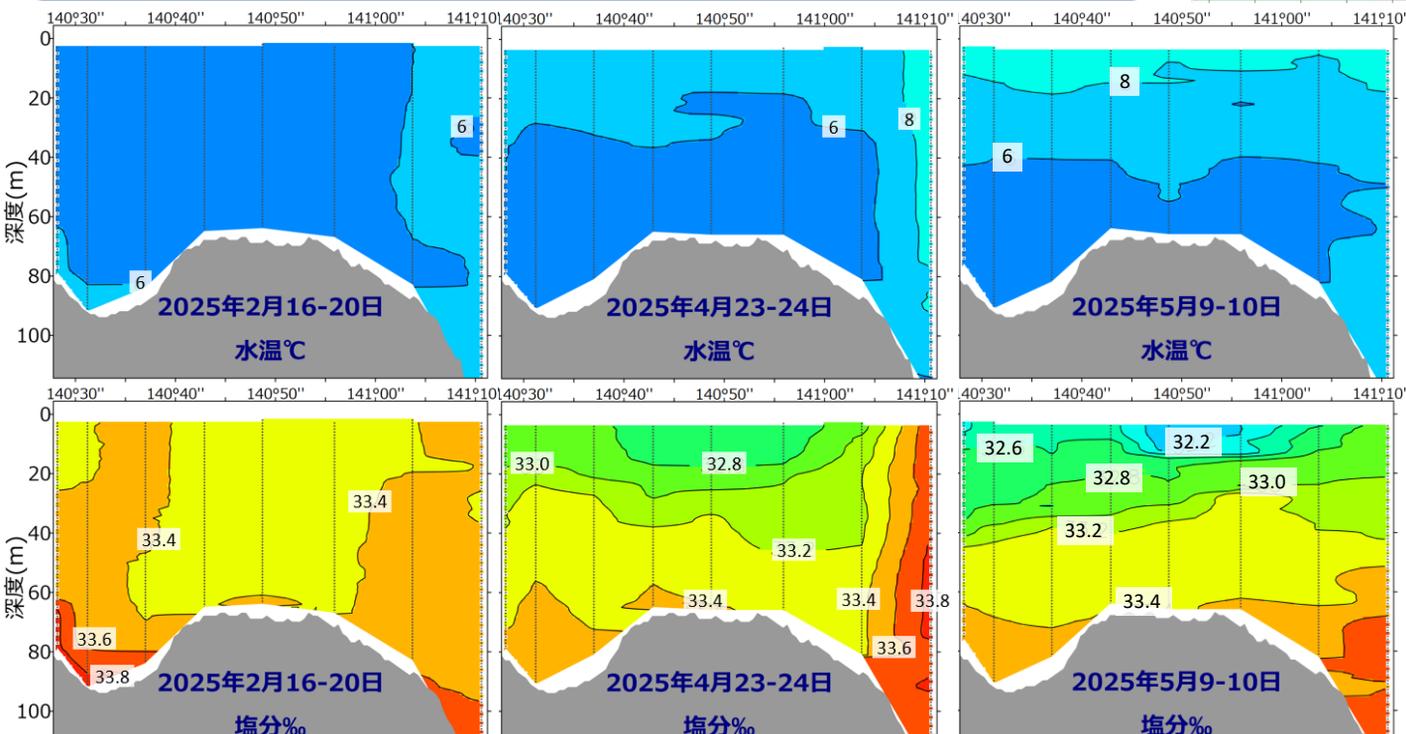
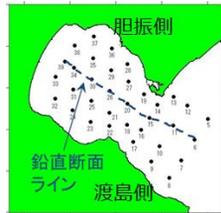


図3 上：水温，下：塩分，左（参考）2025年2月，中：同4月，右：今回の調査  
 ※図上部にある鉛直断面ラインを渡島側から見た図です

【ホタテガイラーバの出現状況 調査期間：2025年5月8～10日】

- **出現量は多く、全域に分布**（全湾平均2,593個/トン、図4左）。  
昨年、一昨年の同時期(455, 591個/トン)を大きく上回りました。
- **中型（200～250μm）が主体**，大型(250μm以上)も出現（図4右）。  
昨年、一昨年よりも大型個体の割合の増加が早いです。まもなく付着盛期です。
- **小型（200μm未満）の割合は減少**（図4右）。  
今後の出現量の増加は少なく、付着盛期は例年よりも早く終了する見込みです。

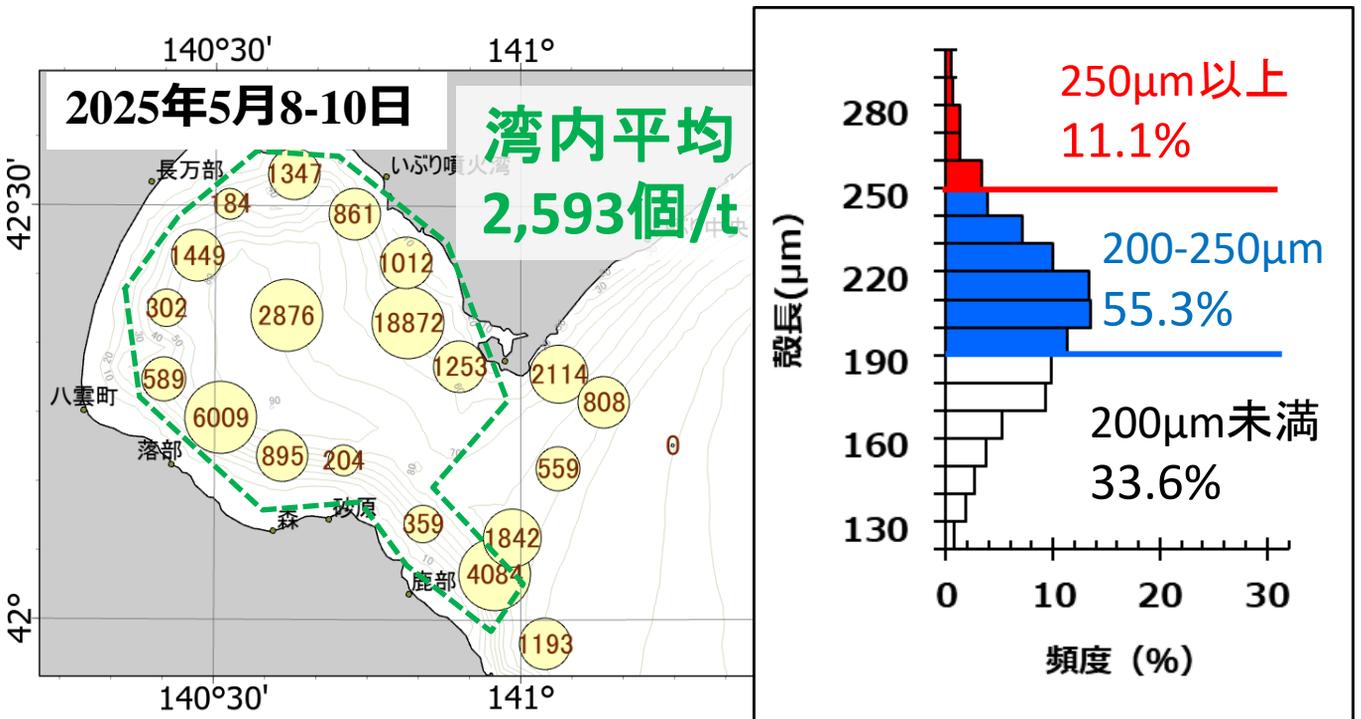


図4 5月のホタテラーバの水平分布（左）と殻長組成（右）

参考 4月の全湾調査時のホタテラーバの水平分布と殻長組成

